

# 猫と楽しく暮らすために

## 猫の生態・習性

### 寿命

室内で飼う場合は 14 ~ 15 歳くらい。外猫は短命です。

### なわばり

それぞれが一定の行動圏（なわばり）をもっています。

### 情報交換

音声、顔の表情、におい（匂いづけ、爪による引っかき、尿によるマーキングなど）で情報交換を行います。

### 社会化期

生後約 3 ~ 9 週齢が猫の社会化期です。

この時期に母猫や兄弟と遊び、人や他の動物などに馴れさせておくことで落ち着きのある猫となります。人や他の動物と触れ合う機会を作っておけることが大切です。

### 繁殖生理

性成熟：生後約 6 ヶ月

繁殖期：早春や秋口が繁殖期。交尾刺激により排卵するので、高い確率で妊娠します。

### 爪とぎ

爪の手入れやなわばりの主張（マーキング）、ストレスの発散などの時に見られる行動です。

### 狩猟本能

小鳥や金魚など、小さな動物を本能的に捕まえます。

### 嫌いなもの

・急な環境の変化 ・突然の大きな音 ・騒々しい環境 ・寒さ



猫の生態や習性、生理をよく理解し、愛情をもって最後まで飼わなければなりません。また、他人に迷惑をかけることがないように、責任をもって飼いましょう。

## 千曲ねこの会

(令和元年度千曲市協働事業提案制度採択事業)



# ペットを飼う前に

## 命を見送るまで飼えるか考えましょう

猫はとっても長生き！飼い始める時期によっては、飼い主の寿命よりも長く生きることがあります。その命を見送るまであなたが飼いつけることはできますか？

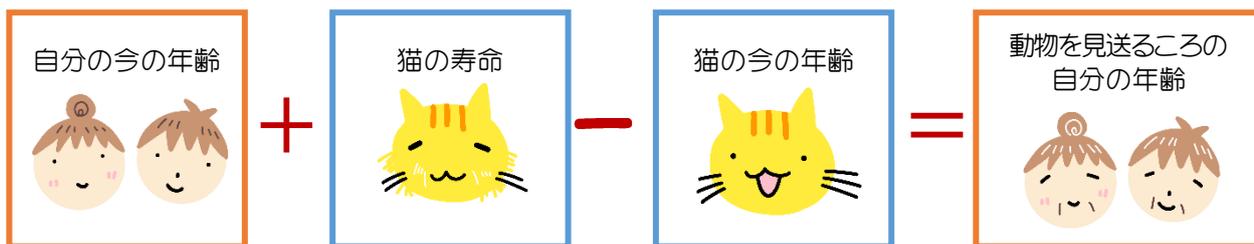


## 飼わない決断も大切です

「適切な世話ができないから、今は飼わない」と決断することも、「ペットの命を預かる責任」を果たすことになります。



計算してみましょう



# ペットを迎える前によく調べ、考えましょう

## 1 飼いたい動物の特性・飼育に必要な環境について調べましたか？

本当に自分に飼えるのかよく考えましょう。その動物の習性や行動を知ることは、問題行動の予防や近隣とのトラブルの予防にもなります。

## 2 生涯にわたる計画を立ててみましたか？

ペットを飼うには費用がかかります(食費、予防・医療費、ペット用品費など)。

あなたのライフプランに合っているかは重要です。周りが飼っているからと言って自分も・・・という甘い考えは捨てましょう。

## 3 ペットの入手先について調べましたか？

入手先にはブリーダー、動物愛護センター、保健所や愛護団体などがありますが、猫を引き受けた後も飼い方についてきちんと相談にのってくれるかなどを事前に確認しましょう。

命を大切にするという意味でも、また、長きに渡ってお付き合いできる安心感がある点からも、お近くの信頼できる団体からの譲渡がおすすめです。

## 4 毎日欠かさず、ペットの世話に時間と手間をかけられますか？

ペットは生きています。毎日の世話が必要です。ペットの急な病気など、自分の用事を後回しにすることも時には必要です。

## 5 家族みんなが飼うことに賛成して協力できますか？

ペットを飼うことに、家族の協力は欠かせません。

## 6 家族の中に飼いたい動物に対するアレルギーを持つ人はいませんか？

飼う前に医師に相談するなど慎重な判断が必要です。

## 7 そのペットを飼うことができる住宅ですか？

集合住宅ではペット禁止の場合があります。事前に確認が必要です。

## 8 万が一、飼えなくなった時のことを考えていますか？

突然の災害や不慮の事故、病気で飼うことが難しくなるかもしれません。万が一に備え、ペットを預けられる人、世話をしてくれる人を見つけておきましょう。



# 飼い主になるということは すべてに責任をもつこと

## 命を預かる責任

「ペットを飼う」ということはそのペットの命を預かるということです。

### ◆快適で安全な環境を提供する責任

ペットの種類によって習性や行動、必要な環境は異なります。ペットが生涯にわたって快適で安全に暮らせるように環境を整え、最後まで適切に飼いましょう。



### ◆命を終えるまで飼い続ける責任

誰にでも人生の転機は訪れます。自分の生活が変わってもペットを飼い続けられるか、シミュレーションを行い、あらかじめ対策を練りましょう。

### ◆老いに向き合う責任

人にも動物にも寿命があります。ペットも歳を取ると、様々な病気や症状が現れ、介護が必要な場合もあります。介護は長期に及ぶこともあり、家族の協力が欠かせません。個々のペットによって、症状や介護の度は異なりますので、飼い主は無理せず、悩みを一人で抱え込まずに、獣医師や飼い主仲間などに相談しましょう。

## 社会に対する責任

ペットを大切に思うあまり、周囲への配慮を忘れてはいませんか？

### ◆ルールやマナーを守る責任

飼い主もペットも地域社会のルールの中で暮らしている以上、自分勝手な行動は許されません。ペットが嫌われる理由のほとんどは、動物によるものではなく、飼い主のマナーが悪いことが原因です。

### ◆人に危害を及ぼさない責任

地域社会の中には、動物が嫌いな人や恐怖心を持っている人、動物に対するアレルギーを持つ人もいます。放し飼いは、ペットの飛び出しによる交通事故や咬みつき事故等、人も動物もケガをする危険があります。

### ◆周辺地域を汚したり迷惑をかけない責任

公共の場所に排泄物が放置されているのは誰にとっても不快だけでなく、衛生上も問題があります。また、飼い主が気づいていなくても、鳴き声や毛・羽毛の飛散、排泄物、臭いなどを迷惑に感じている人もいます。日頃から、周囲の人々への配慮が必要です。



### ◆自然環境に影響を及ぼさない責任

ペットを放し飼いにすると、野生動物を食べる、すみかを奪うなどして、生態系等に悪影響を及ぼすことがあります。

「動物の愛護及び管理に関する法律」第7条には、  
 ペットの飼い主の責務として6つのことが明記されています。

<p><b>①健康と安全の保持と 迷惑防止</b></p> <p>命ある動物への責任を十分に自覚し、種類や修正に応じて正しく飼うこと。生活環境を悪くしないように、また人に迷惑をかけないように飼うこと。</p>	<p><b>②病気の知識と予防</b></p> <p>動物の病気や感染症等の正しい知識を持ち、その予防に必要な注意を払うこと。</p>	<p><b>③逃走防止</b></p> <p>動物が逃げ出したり迷子になったりしないよう、必要な対策をとること。</p>
<p><b>④終生飼養</b></p> <p>動物がその命を終えるまで適切に飼うこと。</p>	<p><b>⑤繁殖制限</b></p> <p>飼っている動物が増えすぎて管理できなくなることをないように不妊・去勢手術をすること。</p>	<p><b>⑥身元表示(所有明示)</b></p> <p>自分の飼っている動物だと分かるように、首輪や迷子札、マイクロチップ等をつけること。</p>

## 飼い主の都合でペットを手放すことにならないですか？

人生にはさまざまな転機が訪れます。就職、転勤、引っ越し、結婚、老い……。  
 不測の事態も起きるかもしれません。それでも最後まで責任を持って飼えますか？

### ◆実際にあつた事例です…

<p>引っ越しで 飼えなくなった</p> 	<p>子どもに アレルギーがでた</p> 	<p>先住のペットと 相性があわない</p> 	<p>思っていたよりも 大きくなった</p> 	<p>仕事がいそがしく なった</p> 
<p>子どもが生まれたので 世話をする時間が なくなった</p> 	<p>近所から苦情がきた</p> 	<p>高齢になったペット の介護が重い負担に</p> 	<p>病気で世話が できなくなった</p> 	<p>飼い主が亡くなった</p> 

### 万が一、飼い続けることが難しくなったら？

飼い主には、ペットがその命を終えるまで適切に飼う責任があります。どうしても飼えなくなったときには、新たな飼い主を探すことも、飼い主の責任です。



- \* 親類・友人知人に聞く
  - \* ポスター、チラシを作成する
  - \* 新聞やタウン誌などに広告を掲載する
  - \* インターネットを活用して情報を発信する
  - \* 地域の動物愛護団体から助言をもらう
- ※注 基本的に引き取りはしない場合がほとんどです

### ★猫を捨てると、猫も近隣住民も被害を受けます★

捨てられたペットは食べ物を得られず死んでしまったり、交通事故に遭ったり…。住居や庭を荒らし、近隣トラブルの原因となることも多々あります。

# 猫は室内で飼いましょう

『家庭動物等の飼養及び保管に関する基準「第5猫の飼養及び保管に関する基準」』に猫の室内飼育に努めることが明記されています。

## 屋外には危険がいっぱい!

飼い猫を外に出している飼い主は、これらの危険にさらしていることを忘れてはいけません。飼い猫がこれらの危険に遭遇した場合には、命を落としてしまうかもしれません。



### 感染症

- ・猫エイズ(猫免疫不全ウイルス感染症)
- ・猫白血病ウイルス感染症
- ・猫伝染性腹膜炎 など

### 予期せぬ繁殖

- ・望まない子猫が生まれる



### 交通事故

- ・車と衝突する
- ・車の隙間に入り込むなど

### 近所からの苦情

- ・糞尿被害
- ・ゴミを荒らす
- ・鳴き声
- ・花壇が荒らされる
- ・爪で車が傷つけられるなど



### 迷子

- ・予期せぬ事態(大きな音等)でパニックになる
- ・病気や怪我で動けなくなる
- ・繁殖相手を探し放浪する

### ケンカ

- ・縄張り争い
- ・メスをめぐる争いなど



## 室内飼育でも身元表示を忘れずに!

室内で飼っていても、突然の災害や逸走(脱走)に備えて日頃から迷子札やマイクロチップ等の身元表示(所有明示)をしておくことが必要です。動物病院への移動中や、大きな音など、思いがけないきっかけで猫が迷子になることがあります。

万が一のときに後悔しないよう、日頃から身元表示をして、迷い猫にさせないようにしましょう。

※猫の首輪は引っかかりを防止するために、力が加わると外れるタイプを使用するとよいでしょう。



### ここに注意!

- ◆首輪に直接書いた電話番号や住所は時間の経過とともに読めなくなることがあるため定期的に点検や交換を!
- ◆首輪は外れることも考えて、迷子札とマイクロチップの二重対策をとることを心がけましょう。
- ◆マイクロチップの登録情報に変更があった場合は速やかに情報を更新しましょう。

AIPO 事務局公社 TEL : 03-3475-1695

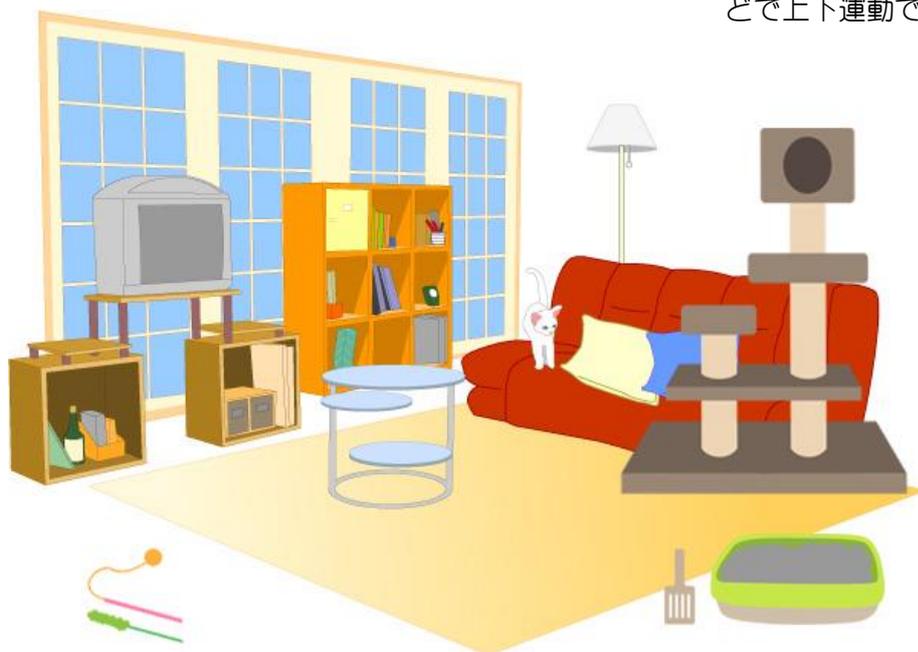
マイクロチップについて <http://nichiju.lin.gr.jp/aigo/>

# 猫に快適な室内環境

猫に快適な環境を整え、飼い主が良いコミュニケーションをとることで室内飼育でも幸せに暮らせます。

## 外が見える場所

猫は安全なところから外を眺めること、動くものを見るのが好きです。



## 上下運動

猫は高いところや立体的な移動を好みます。家具や段ボール箱、市販のキャットタワーなどで上下運動できる場所を作りましょう。

## かくれ場所 1

高いところや狭いところに快適で安心できるかくれ場所を作りましょう。

## トイレ

トイレの数は、猫の数+1個が理想です。猫はきれいなトイレを好みます。毎日きれいに掃除しましょう。

## かくれ場所 2

キャリーバッグをかくれ場所にしておく、通院時や災害時の避難にも役立ちます。安全な場所に置きましょう。

## 猫のおもちゃ

安全な猫用のおもちゃを置いておきましょう。一人遊びをしたり、飼い主と遊んだりすることでストレスの解消になります。

## 爪とぎ

猫は古い爪を剥がし、自分の匂いを付けるために爪をとぎます。家具を傷つけられる前に、猫の好みの爪とぎを用意しましょう。

**Q** 室内だけだと運動不足になったり、ストレスがたまったりしませんか？

**A** 上下運動と遊びで充分発散できます。

猫は上下運動したり、おもちゃやおもちゃで遊んだりして十分に運動することができます。飼い主とのコミュニケーションや遊びも大切で、ストレスの解消になります。

また、繁殖に係るストレスは不妊・去勢手術でなくすることができます。

**Q** 室内にはどんな危険がありますか？

**A** 誤飲に気をつけましょう。

おもちゃやおもちゃで遊んでいるうちに飲み込んでしまったり、電気コードをかじったり、有毒な観葉植物を食べてしまうことも。室内に置くものには気を配ってください。

**Q** 万が一の脱走防止にどんな対策をすればいいですか？

**A** 扉の開閉に注意！窓や網戸にロックをつけましょう。

窓や網戸には猫が開けられないようにロックを付けておきましょう。バルコニーには網を張っておくと安心です。人の出入りにすり抜けてしまわないよう注意しましょう。

**Q** すでに外で飼っている猫を室内飼いにすることはできますか？

**A** 少し時間はかかることはありますが可能です。

最初は習慣で外に出たがりですが、室内の環境を快適にして、外に出さないことを徹底すれば、ほとんどの猫は慣れます。引越など生活環境の変化を利用すると、比較的容易に室内飼育にできます。

# 健康で長〜く一緒に暮らすために!

飼い主は、ペットの命を預かる者として、その動物の種類や習性などに応じて健康管理や飼育環境を整え、最後まで適正に飼い続ける責任があります。

## 住環境・・・ペットの種類に合わせた環境でいつもきれいにしましょう

ペットの種類によって、適した温度や湿度などの環境、必要なスペースや設備は違います。種類にあった住環境を整えましょう。

ペットを飼う場所はこまめに掃除をして清潔に保ち、壊れている箇所、危険な箇所がないかなどの点検も定期的に行いましょう。



## 食べ物・・・人とは違った動物ですから、必要な栄養素も当然違います

年齢や健康状態に合った栄養バランスのとれた食べ物を与え、いつでも新鮮な水を飲めるようにしましょう。

人の食べ物を与えると、栄養バランスが崩れて健康を損ねる場合もあります。玉ねぎやチョコレート、レーズン、キシリトール入りの菓子など、人の食べ物の中には、動物に与えると中毒を起こすもの、場合によっては死に至るものもあります。



## 世話と観察・・・ペットは具合が悪くても言葉で伝えることはできません

飼い主は毎日の世話を通して、ペットの体の状態や行動、食事の量、糞や尿の状態などをよく観察しましょう。毎日、しっかりと世話や観察することで、いち早く異常を見つけられるでしょう。



## 医療・・・予防が第一、異常があるときは速やかに獣医師に相談をしましょう

ペットの健康維持には、日頃から、ワクチン接種や寄生虫の駆除・予防、定期検診を行うこと、適切な給餌や住環境を整えることが重要です。また、いつもと様子が違うときは、早めに動物病院で受診しましょう。

Veterinarian



### 動物の愛護及び管理に関する法律の改正

#### 飼い主の責任と終生飼育

飼い主の責務として、飼養する動物がその命を終えるまで飼養すること(終生飼養)が追加されました。飼い主や動物を取り扱う方は、適切な給餌や給水、必要な健康管理、動物の種類や習性を考慮した環境の確保を行い、最後まで愛情と責任を十分に自覚して飼い続けることが求められます。

愛護動物に対し、みだりに、餌や水を与えずに不衛生な場所で飼って衰弱させたり、病気やケガを放置したり、糞尿や死体が放置された場所で飼うなど、虐待や遺棄を行った者は懲役1年または百万円以下の罰金や、みだりに殺傷した場合は懲役5年または罰金500万円が科せられます。

## きちんと世話をできる数にしましょう

「一頭ではかわいそう」「お友達がほしいだろう」というのは飼い主の一方的な考えです。また、「かわいい子どもをみたいから」と軽い気持ちで産ませてしまうと、あっという間に数が増えてしまいます。子犬や子猫のもらい手を探してもそう簡単にはみつかりません。

### 1頭のメス



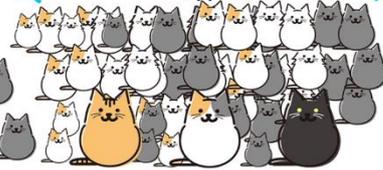
1年後には  
20頭以上...



2年後には  
80頭以上...

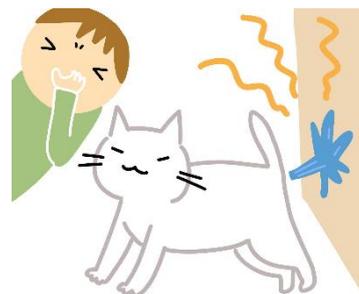


3年後には  
2000頭以上...



## 室内飼育でも不妊・去勢手術!

子猫が生まれることを望まない場合や、生まれた子猫を全て幸せにできない場合は、不妊・去勢手術をしましょう。病気の予防やストレスの軽減になり、繁殖のための争いや逸走(脱走)、望まない妊娠を予防できます。また、オスの場合は、去勢手術をすることにより、あちこちに尿をかけるスプレー行動の予防にもなります。



■性的なストレスによる異常な鳴き声や争いなどの問題行動が減ります。

■生殖器の病気や交尾でうつる病気、性ホルモンの影響による病気のリスクが減ります。

## ペットも歳をとります

ペットは人と比べて、早いスピードで歳をとります。

高齢になるにつれ、視力や聴力、嗅覚などの感覚、運動機能や消化機能、体温調整機能が衰えていきます。栄養や飼養環境に気を配り、高齢のペットの状態に合わせて対応しましょう。

歳をとると、さまざまな病気や症状が出ます。介護が必要な場合もあります。介護は長期に及ぶこともあり、家族の協力が欠かせません。また、飼い主もムリをせず、一人で悩まずに、獣医師や飼い主仲間に相談してみましょう。



7歳

シニアの年代になり、栄養や健康管理により気を付けるようにします。年1回以上の健康診断をおすすめします!



14歳

耳が遠くなり白毛も増え、足腰が弱ってきます。

### 高齢になるとかかりやすい猫の病気

◆慢性腎不全

症状：多飲多尿、食欲不振、脱水、毛のパサつき、口内炎など

ペットの命に最期まで責任をもつのは飼い主の責任ということを絶対に忘れないでください。

う。あめ、どうしよう?」

「近所に相談したところ、仲のいいお隣さんから「千曲ねこの会」の話を聞き、お願いすることにしました。」



「千曲ねこの会」は、連絡をする  
とすぐこやってきました。

「猫は何匹いますか?」

「いつからこんなに増えたので  
しょう?」

「子猫は生後何カ月ですか?」

たくさん質問されても、よく分か  
りません。それもそのはず。猫はあ  
つという間に増えてしまったので、

おじいさんにもおばあさんにもよくわからないのです。二人  
は、ほとほと困って下を向いてしまいました。

「もう子猫が生まれないよう、避妊・去勢手術をしましよ  
うー」

千曲ねこの会のメンバーはてきばきと準備を進め、猫たち  
を捕まえていきました。

「怖い思いをさせてごめんね。でも、手術をすればもう子  
猫を生むことはないよ」

おじいさんとおばあさんは、猫たちに言っただけで聞かせました。  
「ん?ん?ん?。喧嘩も減るし、優しくなるし。病気にもかか  
りにくくなるんですよ」

獣医さんも千曲ねこの会の人たちも丁寧に説明してくれ

たので、安心して手術を任せました。



桜の花がほころびはじめました。

やっと全部の猫の手術が終わり、何匹かは新しい飼い主さ  
んにもらわれることになりました。

日向ぼっこをする猫たちの耳はさくらの花びらの形に似  
ていて、一足早く満開の桜が咲いたようです。

時間もお金もたくさんかかりました。でも、もう猫が増え  
ることはありません。

シロやその子どもたちはもう  
子どもを産まず、たった一代限り  
の命になったのです。そう思う  
と、ここにいた猫たちが、前より  
もずっと愛おしくなりました。

「シロもみんなも、元気でいて  
くれよ」

おじいさんがそう言うと、シロ  
もその子どもたちも、満足そうに  
目をきゅっつ閉じました。



※手術された猫は、手術の麻酔が効いているときに手術済みの印と  
して耳先をV字型にカットします。

※避妊去勢手術をすることで、喧嘩が減る、気性が穏やかになる、病  
気にかかりにくくなるといったメリットがあります。

# たくさん猫のしあわせ

千曲市の山に囲まれたのどかな地域。

おじいさんとおばあさんの家に白い猫が現れました。

「かわいい猫だねえ」

「エサをあげてみましょうか」

お腹が空いていたのでしよう。

鶏肉をあげると、むしゃむしゃと

食べ始めました。

白猫は次の日も、その次の日も

やってきました。

いつしか、おじいさんとおばあ

さんは、その白い猫を「シロ」と呼

び、かわいがるようになりまし

た。そんな日が続いたある日のこと。

シロは、ぱったり姿を見せなくなりました。

「もう死んでしまったのかもしれないね…」

二人が心配していたそのとき、ひょっこりシロが庭先に顔をのぞかせました。

なんと、その後ろには白い子猫が三匹、黒い子猫三匹がい

ます。おじいさんはシロのために缶詰を一個、白い子猫たち一



「かわいいねえ。でも、これじ

ゃあエサ代がかかりますねえ」

そう言いながらも、おじいさん

とおばあさんは猫たちにごはん

をたっぷりあげました。

子猫たちはどんどん大きくな

ってきました。

山が真っ赤に染まるころ。

物置から子猫の鳴き声が聞こ

えたので、おじいさんはそっと様

子を見に行きました。

用心深く扉を開けると…

また子猫が生まれているではありませんか！一、二、三、

四…数えるとなんと十五匹もいます。

シロと、その子猫たちが子どもを産んだのです。

シロと、子猫たち六匹、そこに今回生まれた子猫十五匹。

合計二十二匹になってしまいました。ありったけの缶詰を分け与えましたが、まだまだみんなお

腹を空かせて鳴いています。

「満足にあげられなくてごめんね」

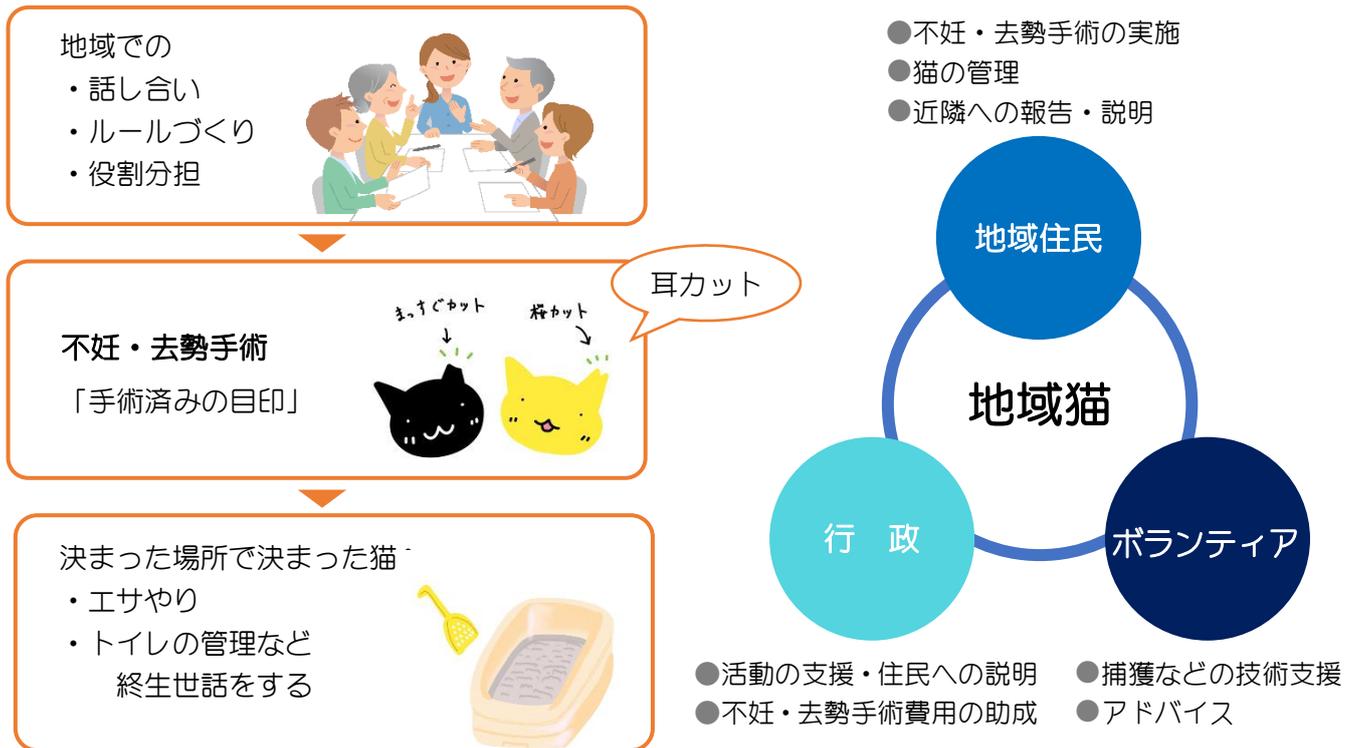
「エサ代も払えないし、このままじゃ猫屋敷になってしま

# 地域猫活動について

「飼い主のいない猫(野良猫)」は捨てられたり、不妊・去勢手術をせずに内外出入り自由に飼われている飼い猫が繁殖したりして増えたものです。誰かが与えるエサを食べるなどして、命をつないでいます。

しかし、猫にエサを与える人がいる一方で、糞尿やゴミ荒らし、鳴き声などで困っている人もいます。

こうした猫の問題は、猫が好きな人と嫌いな人とが対立していても解決しません。地域の環境問題としてとらえ、地域住民が主体となって、ボランティア、行政と協力しながら、人と猫とが共生する地域づくりをしていくことが必要ではないでしょうか。このような地域活動が「地域猫活動」です。



## 地域猫活動の効果

- 1 猫をめぐるトラブルが減る  
地域のルールに基づいた活動のため、猫をめぐる地域のトラブルが減少する。
- 2 猫が減る・子猫が生まれない  
不妊・去勢手術を実施しているため、子猫が産まれることがなくなり、飼い主のいない猫は次第に減少する。
- 3 環境美化  
トイレやエサの管理により、糞尿やゴミ荒らしの被害が軽減する。
- 4 地域の活性化  
地域の問題に取り組むことで人どうしのつながりができる。



〈問合せ先〉 千曲ねこの会

連絡先：平田（携帯 090-1614-9792 平日は 17：30 以降）/清水（携帯 080-6935-1183）

 「千曲ねこの会」で検索！